

## トップメッセージ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。 2021年度(2021年4月1日~2022年3月31日)の事業の概況をご報告申し上げます。

## 事業の経過及び成果

当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、データセンター向け等を中心に堅調に推移いたしました。また、IoT、AIの活用の進展や5Gの普及に加え、自動車向けをはじめとした半導体不足の解消に向けて、生産体制の強化も進められました。さらに、国内、海外ともに半導体製造基盤の確保・強化に向けた動きも広がりました。

このような事業環境の中、当連結会計年度の売上高につきましては、後半に需要の端境期の影響を受けたものの、全体としてはメモリーIC向けを中心に堅調に推移したことにより、前連結会計年度を上回る結果となりました。利益面につきましても、売上高の増加等により、前連結会計年度を上回る結果となりました。



代表取締役社長 大久保 和正

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は23,599百万円(前連結会計年度比27.4% **ヘンパ 作工** 増)、営業利益は4,953百万円(前連結会計年度比86.0%増)、経常利益は5,092百万円(前連結会計年度比97.8%増)となりました。 親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、3,802百万円(前連結会計年度比86.6%増)となりました。

## 株主の皆様へ

当社グループの主たる事業分野である半導体市場につきましては、中長期的には、デジタル社会への移行が世界中で進む中、半 導体は、データセンター向けをはじめとして、様々な製品において需要の拡大が予想されており、それらを背景として、新たな半導体 工場の建設等、半導体製造基盤の確保・強化に向けた動きも広がっております。

一方、足元では、世界経済の減速、新型コロナウイルス感染拡大によるサプライチェーンの混乱、ウクライナ情勢の悪化に伴う原材料の供給や価格への影響、半導体不足による製造装置の長納期化等が、半導体の生産やコストを左右する可能性があります。 プローブカード市場につきましても、半導体市場の発展とともに成長が期待される一方で、先行きの不透明感は増しております。

このような事業環境の中、当社グループといたしましては、国内外の既存顧客に対する一層のサポートの強化によるシェアの維持及び海外の半導体メーカーに対する販売強化、並びに中長期的な成長に向けて開発等の強化を図ってまいります。

さらに、当社の中長期的な企業価値の向上に向け、サステナビリティが重要な経営課題であるとの認識のもと、環境・社会・ガバナンス(ESG)に関する取り組みを推進し、持続的な成長及び企業価値の向上に努めます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月



## 半導体の品質を支える。

スマートフォン、自動車、サーバー等多くの製品を支えている半導体。 当社グループは、半導体の品質を支える上で必要不可欠な プローブカードの開発、製造、販売を行っております。

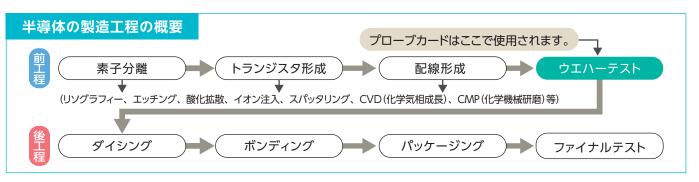


## プローブカードの役割

プローブカードは、半導体の製造工程の中で、ウエハーテストとよばれる電気的な検査を行う工程で用いられます。

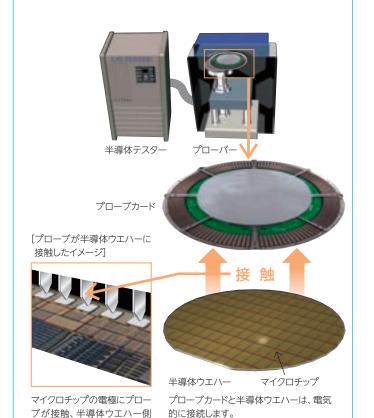
そして、半導体ウエハー上につくられたマイクロチップの電極に、最大10万本以上のプローブ(探針)を接触させ、電気信号を半導体テスターに伝える重要な役割を担っております。

そのため、優れた電気的特性やミクロンオーダーの組立精度が求められます。



## ウエハーテストの概要

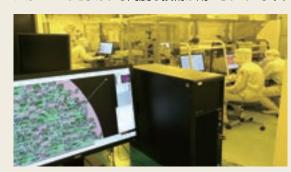
ウエハーテストでは、半導体ウエハー上につくられたマイクロチップの電極に、プローブの先端部分を接触させて電気的な検査を行い、マイクロチップの良否判別が行われます。



に電気信号を伝えます。

## **アドバンストプローブカード**(Mタイププローブカード)

半導体ウエハー上につくられたマイクロチップを同時に多数測定することに優れた当社の主力製品です。データセンターやスマートフォン向けに市場が拡大しているNAND型フラッシュメモリー等の検査に使われています。たくさんのプローブを搭載した高密度なプローブカードを生産するため、MタイププローブカードにはMEMSとよばれる高度な技術が用いられています。



MEMS製造(クリーンルーム)

Mタイプ プローブカード (MC)



## 世界の主要な生産・販売拠点



これまで、当社は先駆的に海外にも生産・販売拠点を設けてまいりました。近年、半導体市場はアジアを中心に成長しており、 海外戦略の重要性が増しております。今後も当社グループは、海外拠点のネットワークを活かした販売活動の充実を図るとともに、 日本から各国拠点への一層の技術支援により、海外販売の強化を推進いたします。

# 技術の開発と製品化によって社会に貢献する。

半導体は、社会インフラを支えるIT基盤の中核技術として、また省エネルギーや環境に配慮した製品の基幹部品として、その重要性はますます高まっています。当社は、1970年に日本で最初にプローブカードの製造を開始し、長年エレクトロニクス産業の成長に貢献してまいりました。そしてこれからも、プローブカードを通じて半導体の品質を支えるとともに、技術の開発と製品化によって、社会に貢献する企業であり続けます。



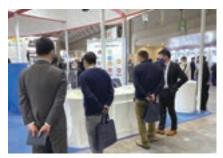
## Topic

**SEMICON Japan 2021** 

当社は、2021年12月に東京で開催された半導体製造装置・材料の国際展示会「SEMICON Japan 2021」に出展、多くのお客様をお迎えし、当社の製品や技術をアピールいたしました。







### 株式事項(2022年3月31日現在)

発行可能株式総数40,000,000株発行済株式の総数12,604,880株株主数13,208名

### 大株主(2022年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行㈱	966 千株	7.67 %
侑 大 久 保 興 産	766	6.09
㈱日本カストディ銀行	618	4.90
大 久 保 和 正	498	3.95
㈱ 三 菱 U F J 銀 行	309	2.45
古山陽一	220	1.74
大 久 保 英 正	213	1.69
明治安田生命保険相互会社	169	1.34
㈱ S B I 証 券	162	1.29
上 田 八 木 短 資 ㈱	148	1.18

(注)持株比率は、自己株式(15,746株)を除いて計算しております。

### 取締役(2022年6月24日現在)

取 締 役	
代表取締役社長	ぉぉくぼ かずまさ <b>大久保和正</b>
専務取締役	<sup>あだち</sup> やすたか 足立 安孝
常務取締役	<sup>さかた</sup> てるひさ 坂 田 輝 久 【新任】
取締役	いのうえ ひろし 井 上 <b>廣 志 *</b>
取締役	<sup>なかもと</sup> だいすけ 中本 大介*
取締役	<sup>ながい</sup> ごう <b>剛 *【新任】</b>
取締役 常勤監査等委員	<sup>たけはら</sup> まさたか <b>竹 原 克 尚</b>
取締役 監査等委員	<sup>はまだ ゆきかず</sup> 濱田 <b>幸和</b> *
取締役 監査等委員	ょしだ ひろゆき 吉 田 博 <b>之</b> *
	** 1+ 5+ 51 FD 45 50

\*は社外取締役

#### 会社概要

11		-	
英	訳	名	JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
住		所	兵庫県尼崎市西長洲町2丁目5番13号 TEL.06-6482-2007 (代表)
設		$\overline{1}$	1960年4月6日
資	本	金	3,036,154千円
事	業 内	容	<ul><li>●半導体検査用部品の開発・製造・販売</li><li>電子管部品の製造・販売</li></ul>

日本雷子材料株式会社

株式市場 東京証券取引所スタンダード市場

証券コード 6855

### 株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 … 3月31日 剰余金の配当 … 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単 元 株 式 数	100株
株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 <b>50</b> 0120-094-777 (通話料無料) ホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/
公 告 の 方 法	当会社の公告方法は、電子公告といたします。ただし事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。当社の公告掲載URLは次のとおりです。https://www.jem-net.co.jp/

- (注) 1. 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、 □座を開設されている□座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。□座を開設されている証券会社等へお問合せ下さい。
  - 2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
  - 3. 未受領の配当金に関するご照会などは三菱UFJ信託銀行にお問合せ下さい。







